

.....

館園名 : 青森県立郷土館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1973年09月20日

所在地

- ・ 〒030-0802 青森県青森市本町2-8-14

公式サイト

・

設立主体

・

運営主体

・

設立目的

- ・ 1967年11月に明治百年記念事業の一つとして企画された郷土館で、青森の姿を正しく理解し、県民の広場として、資料の収集・保管・展示・普及・調査研究の活動を行う。

展示概要

- ・ 県内から収集した考古、歴史、民俗、自然、美術に関する資料5万94点余を収蔵。
- ・ 青森県の歴史、郷土について、6部門に分けて展示するほか、りんごと青森について展示。

活動概要

・

延床面積

- ・ 7,606 m²

全職員数

・

年間運営費

・

総資料点数

・

その他

・

2. ボランティア活動 名称：ゲストキュレーター

活動目的・経緯

- ・ 2003年、活動開始。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 41名（2004年）
- ・ 男性 名、女性 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：学芸課 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名
※但し、仕事の一部として行っている。

活動の種類

- ・ ①ギャラリートーク、②セミナーの講師。

活動その他

- ・ 博物館により運営。
- ・ 年に1、2回、打合せ会を行う。
- ・ 定年制は無い。任期は2年。
- ・ 各分野の研究者に、定期的に依頼している。
- ・ 研修は、特に行っていない。
- ・ 交通費のみ支給。
- ・ ゲストキュレーターに、展示解説・講師のほか、館の調査研究・収集保管などにも協力を依頼する予定。
- ・ 館で実施している教育普及事業への参加者を取り込んだボランティアグループの組織の確立を目指している。
- ・ ボランティア候補者への働きかけの具体的方策について検討する予定。
- ・ ボランティアを行う施設・設備は、全く不十分。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①ギャラリートーク

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 41 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 常設展・特別展で、ギャラリートークを行う。

◇活動日

- ・ 毎週土・日曜日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 予算化されていない、施設・設備は全く不十分

◇運営（シフト 等）

- ・

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年に 1、2 回の打ち合わせ会（不定期）

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 館主導で行っている。各分野の研究者等へ直接依頼。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費のみ

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 教育普及事業以外についても活動してもらうことを検討中。(例えば、調査研究等)

◇その他

- ・

活動個別シート ②セミナーの講師

◇活動開始年

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 41 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 専門分野に関する講演を行う (1 時間 30 分程度)。

◇活動日

- ・ 毎月第 2・第 4 土曜日

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営 (シフト 等)

- ・

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 年に 1、2 回の打ち合わせ会 (不定期)

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 交通費のみ

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 教育普及事業以外についても活動してもらうことを検討中。(例えば、調査研究等)

◇その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：航空科学館ボランティア

活動目的・経緯

・2003年、青森県立三沢航空科学館の開館にあたって、館と地域の双方向に関わり合える生涯学習活動の一つとして、航空科学館の運営を支援し、館を利用者の交流の掛け橋となることを目的に活動を開始。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 28名（2004年04月現在）
- ・ 男性： 19名、女性： 9名
- ・ 平均年齢 41.4歳 ：男性 47.4歳、女性 35.4歳

ボランティア担当職員（2005年01月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ ①航空展示案内、②科学展示案内、③科学実験補助、④ライブラリー運営補助、⑤子供スクエア運営補助（※現在は活動していない）、⑥イベント運営補助。

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営(担当が調整)。
- ・ 館より活動毎に交通費、昼食費の一部を補助(定額)。

関連する出版物

・

関連するHP

- ・ http://www.kokukagaku.jp/05_volunteer/05_frame.html

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

・

活動個別シート 活動名：①航空展示案内

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 14 名（2004 年 04 月現在）

◇活動内容

- ・ 利用者に、青森県の航空史をより深く知っていただくため、ミス・ビードル号や航研機、YS-11 などの航空機と、その歴史についての案内をする。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動(休館日を除き、各人の活動できる範囲内で)。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 個別のボランティア室があり、消耗品等は館で用意。

◇運営（シフト 等）

- ・ 基本的に各人の活動希望日による。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡ノートを作成、年 1～2 回交流会。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 電話、FAX、E メール等で年中申込みを受付。申込用紙に記入後、面接、研修等を経て登録。
- ・ 登録期間は翌 3 月まで。希望者は更新して翌年度も活動。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前に職員による研修。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館負担)。
- ・ 交通費、昼食費の一部を補助(定額支給)。
- ・ 入館料無料、ショップ割引等の特典あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 参加者をもっと増やしたい。
- ・ 参加者が活動を企画したり、ボランティア活動自体を運営したりするなどの経験を重ね、より館を支援することのできる活動にしたい。

◇その他・

活動個別シート 活動名：②科学展示案内

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 6 名（2004 年 04 月現在）

◇活動内容

- ・ 利用者に、自然科学をより深く知っていただくため、館内にある数多くの参加型科学展示の解説や操作案内をする。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動(休館日を除き、各人の活動できる範囲内で)。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 個別のボランティア室があり、消耗品等は館で用意。

◇運営（シフト 等）

- ・ 基本的に各人の活動希望日による。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡ノートを作成、年 1～2 回交流会

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 電話、FAX、E メール等で年中申込みを受付。申込用紙に記入後、面接、研修等を経て登録。
- ・ 登録期間は翌 3 月まで。希望者は更新して翌年度も活動。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前に職員による研修。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館負担)。
- ・ 交通費、昼食費の一部を補助(定額支給)。
- ・ 入館料無料、ショップ割引等の特典あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 参加者をもっと増やしたい。
- ・ 参加者が活動を企画したり、ボランティア活動自体を運営したりするなどの経験を重ね、より館を支援することのできる活動にしたい。

◇その他

活動個別シート 活動名：③科学実験補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 3 名（2004 年 04 月現在）

◇活動内容

- ・ 科学実験工房の講師やインストラクターをアシストし、利用者が実験やワークショップによって科学現象を体験するお手伝いをする。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動(休館日を除き、各人の活動できる範囲内で)。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 個別のボランティア室があり、消耗品等は館で用意。

◇運営（シフト 等）

- ・ 基本的に各人の活動希望日による。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡ノートを作成、年 1～2 回交流会

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 電話、FAX、E メール等で年中申込みを受付。申込用紙に記入後、面接、研修等を経て登録。
- ・ 登録期間は翌 3 月まで。希望者は更新して翌年度も活動。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前に職員による研修。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館負担)。
- ・ 交通費、昼食費の一部を補助(定額支給)。
- ・ 入館料無料、ショップ割引等の特典あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 参加者をもっと増やしたい。
- ・ 参加者が活動を企画したり、ボランティア活動自体を運営したりするなどの経験を重ね、より館を支援することのできる活動にしたい。

◇その他

活動個別シート 活動名：④ライブラリー運営補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 5 名（2004 年 04 月現在）

◇活動内容

- ・ 航空と科学に関する貴重な図書、資料が納められたライブラリーにて、図書の整理や修復、おすすめ図書の案内や DVD の貸出手続きなどの仕事を手伝う。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動(休館日を除き、各人の活動できる範囲内で)。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 個別のボランティア室があり、消耗品等は館で用意。

◇運営（シフト 等）

- ・ 基本的に各人の活動希望日による。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡ノートを作成、年 1～2 回交流会

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 電話、FAX、E メール等で年中申込みを受付。申込用紙に記入後、面接、研修等を経て登録。
- ・ 登録期間は翌 3 月まで。希望者は更新して翌年度も活動。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前に職員による研修。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館負担)。
- ・ 交通費、昼食費の一部を補助(定額支給)。
- ・ 入館料無料、ショップ割引等の特典あり。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 参加者をもっと増やしたい。
- ・ 参加者が活動を企画したり、ボランティア活動自体を運営したりするなどの経験を重ね、より館を支援することのできる活動にしたい。

◇その他

・
活動個別シート 活動名：⑤イベント運営補助

◇活動開始年（西暦）

- ・ 2003 年

◇活動人数

- ・ 名（2004年04月現在）※イベントに応じて登録者の中から参加者を募集。

◇活動内容

- ・ 航空科学館が行うイベントや特別展の準備や運営のお手伝いをする。また、ボランティアが主体となってイベントを企画し、実施する。

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動(休館日を除き、各人の活動できる範囲内で)。
※イベント期間中（準備等含む）のみ

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 個別のボランティア室があり、消耗品等は館で用意。

◇運営（シフト 等）

- ・ 基本的に各人の活動希望日による。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 連絡ノートを作成、年1～2回交流会

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 電話、FAX、Eメール等で年中申込みを受付。申込用紙に記入後、面接、研修等を経て登録。
- ・ 登録期間は翌3月まで。希望者は更新して翌年度も活動。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 事前に職員による研修。
- ・ その他、ボランティアが自主的に勉強。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 全員ボランティア保険に加入(費用は館負担)。
- ・ 交通費、昼食費の一部を補助(定額支給)。
- ・ 入館料無料、ショップ割引等の特典あり。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 参加者をもっと増やしたい。
- ・ 参加者が活動を企画したり、ボランティア活動自体を運営したりするなどの経験を重ね、より館を支援することのできる活動にしたい。

◇その他

.....
館園名 : 青森市歴史民俗展示館「稽古館」

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・1998年04月01日

所在地

・〒030-0843 青森県青森市大字浜田字玉川 207-1

公式サイト

・<http://www.city.aomori.aomori.jp/bunkazai/inisie/keikokan/main-keikokan.html>

設立主体

・青森市

運営主体

・青森市歴史民俗資料館「稽古館」

設立目的

・三方を海に囲まれた自然環境をもつ青森は古代より海の道を拓き、文物の交流を活発に行ってきました。そして本州最北の地に北国特有の文化を築いてきました。この文化遺産を幅広く紹介するほか、普及活動を行い、地域における生涯学習の場として活動を展開することを目的として設置しました。

展示概要

・先人達の残した文化遺産を8つのテーマにわけ、約2,000点を常設展示しています。このほか年間を通じて、随時特別展企画展を開催し、青森市に伝わる伝承文化の紹介および当館収蔵資料の公開を行っています。

活動概要

・年4回の特別展、企画展のほか、教育普及事業として各小学校へ資料を貸し出す出前展示、体験学習会、企画展関連講座、かたりべの会、獅子踊実演会、出前授業、出前講座、こきん刺し講習会などを行っています。

延床面積

・2457,45 m²

全職員数（常勤職員）

・6名（2005年1月現在）

年間運営費

・54,392千円（2003年度）

総資料点数

・15,333点（2004年3月現在）

施設その他

・

2. ボランティア活動 名称：稽古館ボランティア

活動目的・経緯

・当館では青森市に伝わる伝承文化の掘り起こしを紹介したり、収蔵資料の公開などを特別展や企画展を通じて行っていますが、その際展示ディスプレイや資料の整理、修繕はボランティアの方々が担っています。大道具、背景の絵画、手の込んだ修繕などにボランティアの方々の持っている技が生かされています。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 5名（2004年12月現在）
- ・ 男性：2名、女性：3名
- ・ 平均年齢60歳：男性65歳、女性55歳

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 展示ディスプレイ。
- ・ 収蔵資料の整理、および修繕。
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 当館のボランティアは退職された方々で、絵画、木材工芸、手芸等の技術を持っています。

関連する出版物

- ・ なし。

関連するHP

なし。

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ なし。

活動個別シート 活動名：企画展・展示ディスプレイ

◇活動開始年（西暦）

- ・1998年

◇活動人数

- ・5名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・企画展、展示ディスプレイ。

◇活動日

- ・特定することなく、企画展の開催に合わせて活動する。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ボランティア活動日として年間約150,000円を計上している。

◇運営（シフト 等）

- ・企画展の状況により決定。

◇交流（情報、組織 等）

- ・

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・年令等限定なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・報酬あり(少額)。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・人数を増やしたい。

◇その他

- ・待遇の改善を計りたい。

.....

館園名 : 馬の文化資料館 十和田市称徳館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 2000年06月10日

所在地

・ 〒034-0106 青森県十和田市土字深持字梅山 1-1

公式サイト

・ <http://www.net.pref.aomori.jp/city/towada/>

設立主体

・ 十和田市

運営主体

・ 十和田市

設立目的

・ 馬に関する歴史と文化を永く後世に伝え、観光の振興を図るとともに文化と教養の向上に寄与する。

展示概要

・ 馬に関する美術品、歴史的文化財などおよそ 5,000 点。

活動概要

・ 特別展（年数回開催）。
ミュージアムコンサートほか。

延床面積

・ 2,449 m²

全職員数（常勤職員）

・ 4 名（2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 32,734,347 円（2003 年度）

総資料点数

・ およそ 7,000 点（2004 年 12 月現在）

施設その他

・ 野外ステージあり。

2. ボランティア活動 名称：語りべ「わの会」

活動目的・経緯

- ・当館内の民話シアターにおける語りべ上演。
語りべ講座を開設し、上演者を育成した。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 25名（2004年12月現在）
- ・ 男性：1名、女性：24名
- ・ 平均年齢 歳：男性 57歳、女性 不詳 歳（50代）

ボランティア担当職員（2004年12月現在）

- ・ 部局名称：管理係
- ・ 担当人数：常勤職員1名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 民話の上演。
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・ 野外イベントの運営（当館の委託事業）を特定非営利活動法人プロ・ワークス十和田が行っており、当館への誘客促進に協力している。

活動個別シート 活動名：①語りべ

◇活動開始年（西暦）

- ・2000年

◇活動人数

- ・25名（2004年12月現在）

◇活動内容

- ・民話の上演。

◇活動日

- ・土、日、祝日、及び団体から依頼のあった日。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・特になし。

◇運営（シフト 等）

- ・希望申告により、上演スケジュールを決めている。

◇交流（情報、組織 等）

- ・月1～2回。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・その都度、市広報で募集、年齢、性別、経験等問わず。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・月2回表現の勉強会。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・全員ボランティア保険に加入（個別負担）。

◇評価

- ・特になし。

◇課題と展望

- ・上演できる人が固定化しつつあり、人材育成を一層図らなければならない。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 佐井村海峡ミュージアム

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1990年06月01日

所在地

- ・ 〒039-4711 青森県下北郡佐井村字大佐井 112 津軽海峡文化館内

公式サイト

・

設立主体

- ・ 佐井村

運営主体

- ・ 佐井村教育委員会

設立目的

- ・ 下北の物産や観光の紹介を目的にして開設されたアルサス（津軽海峡文化館）の中にある。

展示概要

- ・ 江戸時代に開運で栄えた佐井の歴史や文化を中心に展示（常設展示「北のシルクロード」）。
蝦夷綿、上方の文物、村内に伝承されている神楽関係資料、箭根森八幡宮御祭礼の山車模型など。

活動概要

- ・ ミュージアム図録、研究紀要を発刊。

延床面積

- ・ 278 m²

全職員数

- ・ 5人（全て兼任）

年間運営費

- ・ 325千円（2004年度）

総資料点数

・

その他

- ・ アルサスの中には、物産コーナー、工芸スクールなどがある。

2. ボランティア活動 名称：佐井村海峡ミュージアム受付・案内ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 財政悪化により管理委託業務が廃止されたが、コストを下げるために、ボランティアを利用しての開館が 2002 年より実施された（所蔵品の管理は、村が責任を持つこととした）。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 7 名（2004 年）
- ・ 男性：0 名、女性：7 名（2004 年）
- ・ 平均年齢 59.9 歳：男性 歳、女性 59.9 歳（2004 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育委員会 担当人数：常勤 1 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①受付・案内、②裂織の実演。
※②は 2004 年で終了。

活動その他

- ・ ほぼ毎日活動（休館日を除く）。
- ・ ボランティア謝礼金として、162 千円を計上。
- ・ 7 人でローテーションを組んでいる。
- ・ 村内の裂織グループに直接依頼しているため、募集はしていない。
- ・ 事前研修を、年 1 回行っている。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 謝礼金（1 日 1,000 円）を支給。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①受付・案内

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 7名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 受付・案内

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア謝礼金として、162 千円を計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 7人でローテーションを組んでいる。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 村内の裂織グループに直接依頼しているため、募集はしていない。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修を、年 1 回行っている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員、ボランティア保険に加入。
- ・ 謝礼金 (1 日 1,000 円) を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 所蔵品の管理に問題があるため、今後は臨時職員で対応を考えている。

◇その他

- ・

活動個別シート ②裂織の実演

◇活動開始年

- ・ 2002 年

◇活動人数

- ・ 7 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・

◇活動日

- ・ ほぼ毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティア謝礼金として、162 千円を計上。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 7 人でローテーションを組んでいる。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 村内の裂織グループに直接依頼しているため、募集はしていない。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 事前研修を、年 1 回行っている。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 全員、ボランティア保険に加入。
- ・ 謝礼金 (1 日 1,000 円) を支給。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 2004 年で終了する予定。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 七戸町立鷹山宇一記念美術館

1. 施設の概要

開館年月日（西暦）

・ 1994 年 08 月 01 日

所在地

・ 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94

公式サイト

・ <http://www.town.shichinohe.aomori.jp/>（七戸町ホームページ内）

設立主体

・ 七戸町

運営主体

・ 財団法人鷹山宇一記念美術振興会

設立目的

- ・ 七戸町には絵画を始め音楽、演劇等の様々な分野における文化的な伝統がある。その伝統を活かした町づくりの一環として、美術館、スペイン民芸資料館、絵馬館を設置し多彩なイベントの実施を通して文化活動の振興と町の経済活性化を図ることを目的とする。

展示概要

- ① 七戸町出身で鷹山宇一の絵画を中心に、当町ゆかりの画家である鳥山幡山、平野四郎、上泉華陽の作品を収集、展示。
- ② 鷹山宇一のコレクションである 19 世紀後半西洋の装飾ランプ、20 世紀後期の和ランプを展示。
- ③ 国指定重要有形民俗文化財である「南部小絵馬」等の保存、研究展示。
- ④ 東京都在住の美術評論家、キュレーターである北川フラム氏から寄贈を受けたスペインアンティーク陶器の展示。
- ⑤ 美術講座、美術講演会、その他の普及に関する事業。
- ⑥ 特別展の企画・実施(年 4~5 回程度)。

活動概要（※編集者注：「展示概要」を含む）

延床面積

・ 1,348.77 m²

全職員数（常勤職員）

・ 4 名（2004 年 12 月現在）

年間運営費

・ 35,000,000 円（2003 年度）

総資料点数

・ 約 520 点（2004 年 12 月現在）

施設その他

- ・ 道の駅・七戸町文化村の施設内に設置されている。
- ・ 平成 6 年 11 月に、美術館友の会が設立し、館への支援と会報の発行(年 4 回)などの活動を行っている。

2. ボランティア活動 名称：監視ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 当館で開催する企画展において作品の安全を考慮し展示室内で監視のボランティアが必要となったため、当館友の会、県立七戸高校、七戸町文化協会へボランティア募集の依頼を行った。

活動人数（総数、男女比、年齢構成）

- ・ 80 名（2004 年 12 月現在）
- ・ 男性： 10 名、女性： 70 名
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳
（統計は特にないが、40 歳以上の女性が 80%を占めると思われる。）

ボランティア担当職員（ 年 月現在）

- ・ 部局名称：
- ・ 担当人数：常勤職員 名・その他（ ） 名

活動の種類（種類別にご記入願います）

- ・ 監視ボランティア
- ・
- ・
- ・

活動その他（活動全体に関わる特記事項など）

- ・ 館により運営、職員が、全体を取りまとめている。

関連する出版物

- ・

関連するHP

- ・ <http://>

館外組織（NPO等）との連携（館内ボランティア以外での連携など）

- ・

活動個別シート 活動名：①監視ボランティア

◇活動開始年（西暦）

- ・ 1995 年

◇活動人数

- ・ 80 名 延べ 141 名（2003 年 12 月現在） 募集期間は 119 日。
〔毎年の年間延べ人数 100～200 人（平均 150 人前後）〕

◇活動内容

- ・ 展覧会での監視。

◇活動日

- ・ 必要と思われる企画展会期中。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・ 特に予算計上はしていないが、懇親会開催費用は、美術館で負担。

◇運営（シフト 等）

- ・ 都合のつく時間 2 時間位を最低単位として受付け、1 日 2～8 名で監視を行う。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 年 1～2 回程度の懇親会の開催。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 当館友の会へは、会報に募集のお願いを掲載、その他団体には、会期 1 ヶ月前位に募集の依頼。
- ・ 応募頂いた方全員にお願いしている。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ ボランティア用の展覧会資料、監視上の注意点などのパンフレットを作成し、活動時に参考にしよう。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 企画展オープニングセレモニーへの招待や会期中の無料入館(2 名まで)などの特典あり。

◇評価

- ・ 表彰などを考慮中である。

◇課題と展望

- ・ 展覧界の内容を充分理解した上で監視にあたったほうが、来館者からの質問にも答えられるので事前研修等が必要と思われる。
- ・ ボランティアの自主運営機関が立ち上げられるような組織作り。

◇その他

- ・ 参加者からは、展覧会をじっくりと観覧でき、内容を寄り深く理解できてよかったとの声をいただいている。

.....

館園名 : 八戸市縄文学習館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1983年04月

所在地

- ・ 〒013-0023 青森県八戸市是川中居3-1

公式サイト

- ・

設立主体

- ・ 八戸市

運営主体

- ・ 八戸市

設立目的

- ・ 1961年、故泉山岩次郎氏とその義弟泉山斐次郎氏は、発掘収集した遺物の保存と学術的利用を図るため、八戸市に寄贈。1963年、その保存展示室として、是川考古館が建設された。
- ・ 1975年、歴史民俗資料館が建設されて、考古館は資料館の附属施設となり、八戸市の歴史に関する資料や民俗文化財もあわせて収蔵展示するようになる。
- ・ 1983年4月、八戸市博物館の分館として、再び是川遺跡に関する資料だけを収蔵展示するようになる。

展示概要

- ・ 泉山岩次郎、泉山斐次郎両氏が発掘し、八戸市に寄贈した重要文化財633点を含む是川遺跡出土品（泉山コレクション）を中心に展示。

活動概要

- ・ 縄文時代の技術や暮らしについての体験学習の教室、考古学講座などの教育普及事業を実施。
- ・ 館の事業をサポートするボランティアを養成・活用。

延床面積

- ・ 1150.5㎡

全職員数

- ・ 5人

年間運営費

- ・ 31,000千円

総資料点数

- ・ 5,078点

その他

- ・

2. ボランティア活動 名称：縄文是川ボランティア

活動目的・経緯

- ・ 八戸地方の縄文遺跡や縄文文化に対する市民の理解を深めるための活動を行い、八戸市縄文学習館の教育普及活動を支援する。
- ・ 1996年10月、「縄文学習館体験学習指導ボランティア」活動開始。
- ・ 1999年4月、「縄文是川ボランティア」と名称変更。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 71名（2004年）
- ・ 男性： 名、女性： 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 歳、女性 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：縄文学習館 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①ガイド、②体験学習の指導。

活動その他

- ・ 毎日活動（休館日を除く）。
- ・ ボランティア控え室あり（兼用）。
- ・ 各自が月間予定表を提出、連絡係が調整。
- ・ 市の広報等で募集。
- ・ 養成講座あり。
- ・ 縄文是川応援隊から交通費、保険等の支援がある。
- ・ ボランティア各自の研鑽の結果、活動の質が非常に高くなっている。
- ・ 新しいボランティアが円滑に参加できるようにするための工夫が必要な時期に来ている。

関連する出版物

・

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 民間の団体「縄文是川応援隊」から、活動のための経済的な支援を受けている。

活動個別シート ①ガイド

◇活動開始年

- ・ 1996 年

◇活動人数

- ・ 71 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 是川遺跡と学習館のガイドを行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 館として、ボランティア養成講座の実施、ボランティア控室の提供 (兼用)

◇運営 (シフト 等)

- ・ 各自が月間予定表を提出、連絡係が調整。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 市の広報等で募集。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成講座あり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 縄文是川応援隊から交通費、保険等の支援がある。

◇評価

- ・ ボランティア各自の研鑽の結果、活動の質が非常に高くなっている。

◇課題と展望

- ・ 新しいボランティアが円滑に参加できるようにするための工夫が必要な時期に来ている。

◇その他

- ・

活動個別シート ②体験学習の指導

◇活動開始年

- ・ 1996 年

◇活動人数

- ・ 71 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 体験学習の指導を行う。

◇活動日

- ・ 毎日活動 (休館日を除く)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ 館として、ボランティア養成講座の実施、ボランティア控室の提供 (兼用)

◇運営 (シフト 等)

- ・ 各自が月間予定表を提出、連絡係が調整。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 市の広報等で募集。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成講座あり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 縄文是川応援隊から交通費、保険等の支援がある。

◇評価

- ・ ボランティア各自の研鑽の結果、活動の質が非常に高くなっている。

◇課題と展望

- ・ 新しいボランティアが円滑に参加できるようにするための工夫が必要な時期に来ている。

◇その他

- ・

.....

館園名 : 八戸市博物館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1983年07月15日

所在地

- ・ 〒039-1166 青森市八戸市大字根城字東構 35-1

公式サイト

・

設立主体

- ・ 八戸市

運営主体

- ・ 八戸市教育委員会

設立目的

- ・ 北国の厳しい風土で、たくましく生きぬいた先人達の努力の積み重ねである文化遺産を展示し、未来を考える場として設置された。

展示概要

- ・ 考古展示「先人の知恵・蝦夷の国・土器の移り変わり」：むらの様子や、人々の暮らしぶり、根城の出土品を展示。
- ・ 歴史展示「根城をめぐる・城下町八戸・海に開く・寒風のもとで」：八戸藩2万石の政治・経済・文化を中心に構成。
- ・ 民俗展示「海に生きる・田と畑・祈りと芸能」：八戸地方の人々の暮らし
- ・ 無形資料展示 : 民謡・民話・わらべ唄・方言など、八戸地方の人々の心を言葉で表現。

活動概要

- ・ 年2回、特別展を開催し、それに関する講演会を併催、行事も行っている。
- ・ 「新収蔵資料展」「ひな人形展」「えんぶり展」の企画展を開催。
- ・ 博物館クラブ等の講座を、年12回開催。

延床面積

- ・ 3,767 m²

全職員数

- ・ 8名（館長非常勤）

年間運営費

- ・ 204,639千円（2004年度、人件費含む）

総資料点数

- ・ 56,007点

その他

・

2. ボランティア活動 名称：根城史跡ボランティアガイド・国際交流ボランティアガイド

活動目的・経緯

- ・ 地域の生涯学習活動を展開するとともに、史跡を PR するために結成。博物館講座の受講や養成講座、研修を行い、ガイドを行う。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 44 名（ 年）
- ・ 男性：21 名、女性：17 名（ 年）
- ・ 平均年齢 歳：男性 60 歳、女性 55 歳（ 年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：八戸市博物館 担当人数：常勤 2 名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①史跡ガイド、②国際交流ガイド。

活動その他

- ・ 研修あり。

関連する出版物

- ・ 「創立 5 周年記念誌 想いは時を超えて」（根城史跡ボランティア）

関連するHP

・

館外組織（NPO等）との連携

・

活動個別シート ①史跡ガイド

◇活動開始年

- ・ 1998 年

◇活動人数

- ・ 27 名 (年)

◇活動内容

- ・ 史跡「根城の広場」のガイドや、根城の歴史について解説を行う。

◇活動日

- ・ 休館日を除く毎日 (4 月～11 月)。
- ・ 予約日のみ (12 月～3 月)。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

- ・ ボランティアハウス 1 棟のレンタル料、研修のためのバス借上げ料、コピーおよび電話使用料。

◇運営 (シフト 等)

- ・ 根城地域ボランティアセンター (根城公民館) に所属し、会員が独自に運営している。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 月 1 回例会を行い、情報交換を行っている。
- ・ 「青森県観光ボランティアガイド大会」、「地域・紹介観光ボランティア全国大会」に参加。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 「八戸市の広報」を通し、4 月に呼びかける。
- ・ 養成講座受講後、入会するかどうか検討してもらう。
- ・ 任期なし。毎年 1～3 人位の申込みがある。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 養成講座、研修あり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ 保険は、根城地域ボランティアセンターで負担。
- ・ 交通費は、会員が作成した草木染のハンカチ・しおり等の売上金から支給。
- ・ 年一度の総会、忘年会の費用を、会費で負担。

◇評価

- ・ これまで、「八戸まちづくりフロンティア」の奨励 (2 回)、「第 1 回青森県文化観光立県推進功労賞」などを受ける。

◇課題と展望

- ・ 新会員を増やし、活動を活発にしたい。

◇その他

- ・

活動個別シート ②国際交流ガイド

◇活動開始年

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 11 名 (年)

◇活動内容

- ・ 史跡「根城の広場」と市立博物館を英語でガイドする。

◇活動日

- ・ ガイド希望予約日のみ。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

- ・

◇運営（シフト 等）

- ・ 国際交流協会（八戸市市民連携課国際交流グループ）に所属し、会員が独自に運営している。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 国際交流協会の各部会との全体打合せや、不定期の例会により、情報交換を行っている。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 国際交流協会の機関誌などを通し、不定期に募集。
- ・ 任期なし。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 研修あり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ 交通費 500 円を支給。
- ・ 保険は、国際交流協会が負担。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 新会員を増やし、活動を活発にしたい。

◇その他

- ・ 三沢米軍基地のアメリカ人を対象にした市中心街ツアーも実施している。

.....
館園名 : 八戸市美術館

1. 施設の概要

開館年月日

- ・ 1986年11月21日

所在地

- ・ 〒031-0031 青森県八戸市大字番町10-4

公式サイト

- ・ <http://www.hachinohe.ed.jp/artmuseum/>

設立主体

- ・ 八戸市

運営主体

- ・ 八戸市

設立目的

- ・ 優れた芸術作品の紹介と、市民の創作活動の支援。

展示概要

- ・ 郷土ゆかりの作家の油彩画・日本画・書・版画・彫刻・陶芸を収蔵・展示。

活動概要

- ・ 年2回の特別展を開催し、国内外の優れた美術作品を紹介する。
- ・ 美術講座・貸館事業を行う。

延床面積

- ・ 1,446 m²

全職員数

- ・ 3名

年間運営費

- ・ 42,556千円（2003年度、人件費は含まない）

総資料点数

- ・ 2,070点

その他

- ・ 施設の老朽化が進み、リニューアル実施中。

2. ボランティア活動 名称：美術館ボランティア「ハビボ会」

活動目的・経緯

- ・ 2001年当初は、自己研鑽と美術活動への協力であった。
- ・ その後、館の依頼によるワークショップも企画運営している。

活動人数（男女比、年齢構成）

- ・ 49名（2004年）
- ・ 男性：11名、女性：38名（2004年）
- ・ 平均年齢52歳：男性63歳、女性48歳（2004年）

ボランティア担当職員

- ・ 部局：教育普及担当 担当人数：常勤1名・その他（ ） 名

活動の種類

- ・ ①展示ガイド、②展示室の監視、③ワークショップの開催

活動その他

- ・ 美術館展示の研修を行う。
- ・ 他の美術館の視察研修を行う。
- ・ リーダーの互選による代表が、全体をとりまとめる。
- ・ リーダー会により、日程・活動内容を決定。
- ・ 市広報により、3月に募集。
- ・ ボランティア保険に加入。
- ・ 活動メンバーが固定化してきている。

関連する出版物

- ・ 八戸市ボランティアだより「ハビボ通信」

関連するHP

- ・

館外組織（NPO等）との連携

- ・ 市民アートサポート I CAN OF（イカノフ・2000年12月結成）の開催する八戸芸術大学は、本館のギャラリースペースで行われている。

活動個別シート ①展示ガイド

◇活動開始年

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 49 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 展示作品の解説を目標としているが、現在は作品展示ごとの研修会を主として行っている。

◇活動日

- ・ 不定期。

◇補助（予算、備品、ボランティア室 等）

・

◇運営（シフト 等）

- ・ リーダー会により、日程・活動内容を決定。

◇交流（情報、組織 等）

- ・ 研修会として、他の美術館の鑑賞を年 2 回実施。

◇募集（広報、選考、時期、人数、任期 等）

- ・ 市広報により、3 月に募集。

◇研修（種類、内容、講師 等）

- ・ 展示替えにともなう研修（年 6 回）。
- ・ ボランティア自身による研修あり。

◇待遇（交通費、食費、保険 等）

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーが固定化してきている。

◇その他

・

活動個別シート ②展示室の監視

◇活動開始年

- ・ 2001 年

◇活動人数

- ・ 49 名 (2004 年)

◇活動内容

- ・ 特別展等の展示室監視。

◇活動日

- ・ 館からの依頼日。

◇補助 (予算、備品、ボランティア室 等)

・

◇運営 (シフト 等)

- ・ リーダー会により、日程・活動内容を決定。

◇交流 (情報、組織 等)

- ・ 都合のつく人で調整。

◇募集 (広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 市広報により、3月に募集。

◇研修 (種類、内容、講師 等)

- ・ 展示替えにともなう研修 (年6回)。
- ・ ボランティア自身による研修あり。

◇待遇 (交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

・

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーが固定化してきている。

◇その他

・

活動個別シート ③ワークショップの開催

◇活動開始年

- ・ 2001年

◇活動人数

- ・ 49名(2004年)

◇活動内容

- ・ 水彩画、油絵入門コースのワークショップを開催する。

◇活動日

- ・ 毎月第1金曜日(水彩画)、第4金曜日(油絵)。

◇補助(予算、備品、ボランティア室 等)

- ・

◇運営(シフト 等)

- ・ リーダー会により、日程・活動内容を決定。

◇交流(情報、組織 等)

- ・ 都合のつく人で調整。

◇募集(広報、選考、時期、人数、任期 等)

- ・ 市広報により、3月に募集。

◇研修(種類、内容、講師 等)

- ・ ボランティア自身による研修あり。

◇待遇(交通費、食費、保険 等)

- ・ ボランティア保険に加入。

◇評価

- ・

◇課題と展望

- ・ 活動メンバーが固定化してきている。

◇その他

- ・